

深化の過程



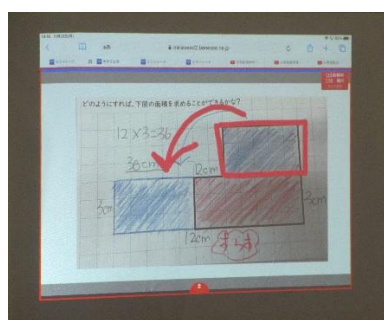
2021.12.07
No.15

☆計画訪問Ⅱ② 新村先生、お疲れ様でした！

4年算数「面積」

<自分の考えをもたせ、思考を広げ深める指導の工夫>

オクリンクの画面共有を活用して、自分のタブレットで友だちの考えをはっきりと見られるようにし、自分の考えとの共通点や相違点を見つけやすくする。(思考の追加・変化・強化)



<成果>

○見通しのもたせ方

- ・既習事項の確認→解決場面でのつなぎ教材として活用がうまくできていた。

○ICTの効果的な活用

- ・オクリンクを活用して画面共有しながら説明することで、他の児童の考えを共有しやすくなり、一人一人の考えが深まった。
- ・手書きで記入したワークシートの写真を撮る→オクリンクで画像を送る→画面上で線などを記入しながら説明する、といった作業がスムーズにできていたため、その分思考を深める時間が多くとれていた。

○ヒントカードの準備

- ・ヒントカードを見ることで、求積方法を児童自らが考えられていた。また、オクリンクで各児童に送付したことで、児童がヒントカードを見るかどうかを自分で決定することができた。

○板書の工夫

- ・児童がオクリンクで発表した内容を板書用のカードに残したことで、出された考えの分類がしやすくなった。

<課題と具体的な改善策>

☆見通しのもたせ方

- ・児童から出たまとめの言葉が「切ったり、移動したり…」といった操作面での言葉になっていた。導入時に面積を求めるための操作の見通しではなく、形に着目させた見通しをもたせれば、まとめの段階で「正方形や長方形にすれば…」という内容が児童から自然に出てきたのではないかと。

☆意見交流の工夫

- ・全体での意見交流の中では、全員の意見を出させるのは難しい。個別解決の後、ペアやグループで意見交流をする時間がもてると、一度は自分の考えを伝える場ができたのではないかと。

☆自己決定の場

- ・全体で自分の考えを示す場があってもよかったのではないかと。

☆4年生の児童がタブレットを使いこなしている様子に、北中・第二小の先生方は驚かれています。意見交流の際、画面共有し、画面上で説明することで発表時間が短縮されるので、その分、思考する時間を多く設定できることがわかり、目からウロコでした。教員側もうまく使いこなしたいですね。



(文責：山崎)